

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】令和 4 年 1 月 24 日(2022.1.24)

【公開番号】特開 2021-58278(P2021-58278A)

【公開日】令和 3 年 4 月 15 日(2021.4.15)

【年通号数】公開・登録公報 2021-018

【出願番号】特願 2019-182839(P2019-182839)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02(2006.01)

10

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 4 A

A 6 3 F 7/02 3 2 0

【手続補正書】

【提出日】令和 4 年 1 月 14 日(2022.1.14)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

20

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

遊技者にとって有利な有利状態に制御可能な遊技機であって、

演出を実行可能な演出実行手段と、

遊技媒体を貯留可能な貯留部と、

遊技媒体を払出すことが可能な払出部と、

上面が開口し、前記貯留部の遊技媒体を前記払出部に誘導する誘導通路を形成する誘導通路形成部と、

前記誘導通路形成部の上側に設けられたねじ落下制限部と、

30

を備え、

前記ねじ落下制限部は、該ねじ落下制限部上に落下した遊技媒体が滞留せずに、かつ該ねじ落下制限部上に落下したねじ部材が前記誘導通路形成部へ落下せずに該ねじ落下制限部上に滞留可能に構成され、

前記演出実行手段は、

特定演出識別情報の可変表示が仮停止したことに伴う第 1 演出と、

該第 1 演出を実行した後に特定演出識別情報の可変表示の再開に伴ってキャラクタ画像を表示する第 2 演出と、

該第 2 演出を実行した後に 1 の可変表示における何回目の可変表示の再開であるかを特定可能な第 1 情報を表示する第 1 情報表示演出と、

40

該第 1 情報表示演出を実行した後に前記第 1 情報に対応した情報であって該第 1 情報よりも視認性が低い第 2 情報を表示する第 2 情報表示演出と、を実行可能であり、

前記第 2 演出の実行期間は、前記第 1 情報表示演出の実行期間と異なる、

ことを特徴とする遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 6】

50

手段 1 の遊技機は、
遊技者にとって有利な有利状態に制御可能な遊技機（例えば、パチンコ遊技機 1）であって、
演出を実行可能な演出実行手段（例えば、演出制御用 CPU 120）と、
遊技媒体（例えば、遊技球 P）を貯留可能な貯留部（例えば、球タンク形成部 201）と、
遊技媒体を払出すことが可能な払出部（例えば、払出装置 200）と、
上面が開口し、前記貯留部の遊技媒体を前記払出部に誘導する誘導通路（例えば、第 1 誘導通路や第 2 誘導通路）を形成する誘導通路形成部（例えば、第 1 誘導通路形成部 202 や第 2 誘導通路形成部 204）と、
前記誘導通路形成部の上側に設けられたねじ落下制限部（例えば、第 1 カバー体 310、第 2 カバー体 320、第 3 カバー体 330）と、
を備え、
前記ねじ落下制限部は、該ねじ落下制限部上に落下した遊技媒体が滞留せずに、かつ該ねじ落下制限部上に落下したねじ部材（例えば、ねじ部材 N1 ~ N6、N11 ~ N16）が前記誘導通路形成部へ落下せずに該ねじ落下制限部上に滞留可能（例えば、長孔 316A ~ 316C、凹溝 326A ~ 326C、凹部 336、（図 11、図 12、図 27 参照）、凹部 280、290、214、242、243、図 22（C）、図 23（A）（B）、図 24 参照））に構成され、
前記演出実行手段は、
特定演出識別情報（例えば、図 36 - 28（B）等）に示す「NEXT」と表示される特殊図柄）の可変表示が仮停止したことに伴う第 1 演出（例えば、仮停止報知演出）と、
該第 1 演出を実行した後に特定演出識別情報の可変表示の再開に伴ってキャラクタ画像を表示する第 2 演出（例えば、再可変表示報知演出）と、
該第 2 演出を実行した後に 1 の可変表示における何回目の可変表示の再開であることを特定可能な第 1 情報（例えば、「×2」、「×3」、「×4」等の画像）を表示する第 1 情報表示演出（例えば、第 1 可変表示開始回数報知演出）と、
該第 1 情報表示演出を実行した後に前記第 1 情報に対応した情報であって該第 1 情報よりも視認性が低い第 2 情報（例えば、第 1 可変表示開始回数報知演出よりもサイズの小さい「×2」、「×3」、「×4」等の画像）を表示する第 2 情報表示演出（例えば、第 2 可変表示開始回数報知演出）と、
を実行可能であり、
前記第 2 演出の実行期間は、前記第 1 情報表示演出の実行期間と異なる（例えば、図 36 - 23 に示すように、再可変表示報知演出の演出期間は 3 秒である一方で、仮停止報知演出の演出期間は 2 秒または 1.5 秒である部分）、
ことを特徴としている。
この特徴によれば、カバー部上に落下したねじ部材が誘導通路形成部内に落下することを防止することができる。また、誘導通路形成部内に混入したねじ部材が払出部に混入することを防止することができる。さらに、遊技者が注目するキャラクタ画像が表示される第 2 演出の実行期間が、第 1 情報表示演出の実行期間よりも長くなるので、遊技興趣を向上できる。

10

20

30

40

50